

**Robot**<sup>®</sup>

**Roomba**<sup>®</sup>

ロボット掃除機

**i5+**

取扱説明書

# 安全上のご注意

## 安全上の重要なご注意

この取扱説明書には、次の規格管理番号に該当する製品情報が記載されています。RVD-Y1、ADJ-N1

この取扱説明書は大切に保管してください

**⚠ 警告:** 電化製品を使用する際は、以下の基本的な注意事項に必ず従ってください。  
説明をすべてお読みください

**⚠ 警告:** ケガや損傷のリスクを低減するために、ロボットの設定や使用、お手入れの際には次の安全上のご注意をお読みの上、指示に従ってください。


本製品をお子様や、身体・知覚・思考能力が著しく低下している方が単独で使うことは絶対にお止めください。ご使用の際には安全に使用できる環境下かつ製品の安全な使用方法と危険性を理解している方の指示監督のもとで使用するようにしてください。お子様が本製品で遊ばないようにご注意ください。また、適切な監督のもとでない限り、お子様に清掃やお手入れをさせないでください。


**⚠** 安全上の警告を示す記号です。人体に損傷を及ぼす可能性を警告します。  
ケガや死亡を防ぐために、必ず、この記号に続く安全上のメッセージに従ってください。

**⚠** 感電のリスク

 クラスII機器

 定格出力 (DC)


 取扱説明書を読むこと

 一般的なリサイクル記号

**⚠** 火事リスク

 屋内専用

 定格入力 (DC)

 お子さまの手の届かない場所に置くこと

**BFP** バックフィード保護

 取り外し可能な電源

 定格入力 (AC)

**警告:** 回避しないと、重度のケガや死を招く恐れのある危険な状況を表します。

**危険:** 回避しないと、軽度または中程度のケガを招く可能性がある危険な状況を表します。

**注意:** 回避しないと床・家屋・家財等の損害の原因になる危険な状況を表します。

### 一般



- この製品は玩具ではありません。ロボットを使用する際には、小さなお子様やペットに注意してください。
- ロボットやクリーンベースの上に座ったり、立ったりしないでください。
- 充電器は必ず純正のものを使用してください。純正以外の充電器を使用されますと、バッテリーが過熱したり、煙や着火、爆発が発生したりする原因になります。
- ロボットには、お住まいの地域で承認された電源コードが付属しており、家庭用コンセントに差し込むことのみを想定して設計されています。他の電源コードは使用しないでください。電源コードを交換する場合は、お住まいの地域に適した電源コードについて、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- ロボットやクリーンベースを開けないでください。内部の部品にはお客様が修理できる部品はありません。修理が必要な場合は、資格を持つサービス担当者にご連絡ください。
- 感電のリスクを防止するために、必ず濡れていない室内で使用してください。
- ロボット本体やクリーンベースに濡れた手で触らないでください。
- ロボットは室温で保管し、使用してください。
- 清掃する部屋にロフト等の高い場所や不安定な場所がある場合は、ロボットがそのような場所に出ないようにドアを閉めるなど、物理的に遮る必要があります。安全に配慮してご利用ください。
- 段差センサーを清掃して、たまったほこりや汚れを取り除いてください。

## ロボット 警告



- 電源コンセントが露出している床での使用は避けてください。
- 本製品を、とがったもの、ガラス、燃えているものや煙が出ていているものの清掃には使わないでください。
- ロボットは自走式です。ロボットが清掃している場所を歩くときには、誤って踏まないようご注意ください。
- ロボットが電源コードを引っ張ると、テーブルや棚の上にある物に引っかかり、落下する恐れがあります。ロボットを使用する前に、床から衣類、紙類、ブラインドやカーテンの紐、電気コード、その他壊れやすいものを取り除いてください。ろうそくの火を消してください。小型ヒーター等をオフにしてください。
- 本製品を安全にご使用いただくために、取扱説明書の記載に従って必要なお手入れを行ってください。
- ロボットが階段のあるフロアで稼働しているときは、最上段にある障害物を取り除いてください。

## 注意

- ロボットは、濡れていない床でのみご使用ください。濡れたものをロボットで吸わないでください。ロボットやクリーンベースを濡らさないようにしてください。
- ロボットの上に物を置かないでください。
- 充電用接触部が汚れていると、ロボットのバッテリーを正しく充電できないことがあります。
- フローリングでロボットを運転する前に、狭い範囲で試運転して、その床でロボットが使用できるかどうかを確かめてください。使用できないフローリングを清掃しようとすると、床が傷む可能性があります。ご不明な点や、ロボットを使用できるかどうかについては、フローリングの製造元にお問い合わせください。
- 充電用接触部が汚れていると、ロボットのバッテリーを正しく充電できないことがあります。

## バッテリー



## 警告

- 開けたり、壊したり、80°Cを超えて加熱したり、焼却したりしないでください。また、メーカーの指示に従ってください。
- 金属類をバッテリー端子に近づけたり、液体に浸したりして、バッテリーをショートさせないでください。バッテリーに機械的衝撃を与えないでください。
- バッテリーパックに破損や液漏れがないかを定期的に確認してください。損傷したバッテリーや液漏れしたバッテリーを充電しないでください。液が身体に付いたり目に入ったりしないように注意してください。液が身体に付いたり、目に入った場合は水でよく洗い流し、医師に相談してください。バッテリーは、密封できるビニール袋に入れ、お住まいの地域の環境規制に従ってリサイクルするか、安全に廃棄してください。
- リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品（バッテリーを内蔵したものを、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、必ず、取扱説明書の「困ったときは」を参照するか、その手順について、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。



## 危険

- お子様はバッテリーをいじらないようにご注意ください。セルやバッテリー端子を飲み込んでしまった場合は、医師に相談してください。

## 注意

- バッテリーパックはリサイクルまたは廃棄する前に、ロボット本体から取り外してください。
- ロボットの性能を十分に発揮させるため、必ず付属のiRobotリチウムイオンバッテリーを使用してください。

- 非充電式のバッテリーは使用しないでください。製品に付属の充電式バッテリーのみを使用してください。交換する場合は、同じiRobotバッテリーを購入するか、他のバッテリーの選択についてアイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。
- バッテリーは常に充電し、長期間保管する場合はロボットと付属品から取り外してください。

## クリーンベース



## 警告

- コードやプラグが破損した場合は使用しないでください。本製品が動作していない、落下した、破損した、屋外に放置された、または水に落とした場合は、サービスセンターにお問合せください。
- 清掃とお手入れの際は、必ずごみ収集機からロボットを取り外してください。
- クリーンベースを踏み台として使用しないでください。
- 吸引口にものを入れないでください。ゴミの吸引口がふさがっている状態で使用しないでください。ほこりや糸くず、髪の毛など、空気の流れを妨げる可能性のあるものは取り除いてください。
- クリーンベースを適切に保つために、内部に異物やゴミが混入しないようにしてください。
- サーマルカットアウトの不用意なリセットが原因で発生する可能性のある危険を回避するために、タイマーなどの外部スイッチングデバイスを使用して本製品を接続したり、ユーティリティによって定期的にオン/オフされる回路に接続したりしないでください。
- クリーンベースに液体がかかたり入り込んだりしないようにしてください。
- クリーンベースに水をかけたり、水に浸したりしないでください。
- 屋外または濡れた場所で使用しないでください。
- 玩具として使用することはできません。お子様のご使用になる際、またはお子様の近くでご使用になる際は、十分にご注意ください。
- 必ず本書に従ってご使用ください。

- 感電のリスクを防止するために、お手入れの際にはクリーンベースの電源プラグを外してください。
- クリーンベースと電源コードは、熱せられた床面には置かないでください。

## 注意

- 電力変換器は使用しないでください。電力変換器を使用すると、保証が無効になります。
- 落雷の多い地域にお住まいの場合は、追加のサージ保護装置を使用することを推奨します。
- 必ずダスト容器の紙バックやフィルターを設置してお使いください。

## 使用上のご注意

ルンバは一般家庭用の製品です。ほかの用途にはご使用いたされません。ルンバを快適に、より安全にご使用いただくため、以下の注意事項をよくお読みください。

### 使用できない場所

- 傷みやすい敷物や床材、壁材
- 毛足の長いカーペット
- デリケートなカーペットやムートン、フェルト素材の敷物
- 柔らかい材質や黒および濃い色のフローリング床面
- ワックス塗られて、またはフロアコーティングをしたフローリング床面（ご使用前に施工業者にご相談ください）
- デリケートな建材（漆喰やけいそう土などの塗り壁）

### ルンバが故障しやすい場所

- 毛足の長いカーペットの上、ふとん、毛布、マット、ベッド
- 高く不安定な場所、風呂場などの濡れた場所
- ストーブなど高温になる機器の周辺
- タイル張りの床、大理石等の石材の床、コンクリートの床、屋根裏、石畳、屋外、倉庫、工場

### ロボット掃除機が落下する恐れのある場所

- 吹き抜けに面し、落下防止柵のないロフト
- 急こう配の階段
- テーブルの上など狭くて高い場所など

### 事前に準備（片づけ、移動）が必要なものや場所

安全かつ快適にご使用いただくためのご注意として清掃の前に、壊れやすい物、吸い込まれると困る物は片づけてください。

とりわけ、スケジュール機能やホームアプリなどを使用し、外出時に清掃を行う場合は、入念に事前準備を行ってください。

保護する必要があるもの（ルンバが振動を与えたり接触する可能性があります）

- ・ 塗漆りなど傷のつきやすい光沢のある家具や置き物、屏風など
- ・ 軽い振動で倒れたり壊れたりしやすい陶磁器類、ガラス工芸品類、姿見など
- ・ 机や台などが受けた軽い振動により、破損や落下する恐れのある陶磁器類など
- ・ 吸い込まれやすいもの（アクセサリーなど）

移動する、片付ける必要があるもの

- ・ 水、油（食用油、機械油など）、揮発性の高い液体類（アルコール、ベンジン、ガソリンなど）を含むすべての液体  
→片づけてください
- ・ 電気ストーブ、扇風機などの電化製品  
→電気コードを抜いて移動してください
- ・ ロボット掃除機が衝突して機器が移動・転倒し、火災や破損につながる可能性があります
- ・ ベッドなどの排泄物  
→片づけてください
- ・ 電気機器やパソコンのコード  
→絡まないようにまとめてください
- ・ カーペットやマットの端の長い房など  
→内側に折り込んでください
- ・ 床につくほどの長いカーテン  
→持ち上げてまとめてください
- ・ 床面近くに操作部のある機器  
→移動してください
- ・ ロボット掃除機が当たって機器の操作部を押すことがあります
- ・ タバコ、ろうそく、線香などの火気  
→片づけてください
- ・ 粘着性のあるもの（粘着式の害虫駆除シートなど）  
→片づけてください
- ・ 布団、座布団、クッションなど  
→片づけてください
- ・ 書籍、冊子、雑誌など  
→片づけてください

落下防止のための注意が必要な場所

- ・ 階段、踊り場、ロフトなど
- ・ 玄関の上がりがちな道

上記のような段差のある場所では、パーチャルウォールまたは物理的な障害物を設置してください。

ルンバの動作を妨げる場所

- ・ 高さ10cm未満の狭い場所を、ルンバは走行できません。ルンバの通路をふさぐものを、あらかじめ移動させてください。
- ・ 床の敷居や段差などは、高さによりルンバが乗り越えられない可能性があります。走行中に引掛かってしまう場合には、ルンバが入り込まないように準備してください。
- ・ 床材の色が黒系統もしくは濃い茶系統の場合、センサーが誤認識して、前に進まなくなることがあります。

### バッテリーの正しい使いかた

ルンバは内蔵されたバッテリーで動作します。使いかたを誤ると、バッテリーの寿命が大幅に縮んだり、バッテリーが破損することがありますので、以下をよくお読みになり、バッテリーを正しくお使いください。

**注意** 次の行為は、バッテリー破損の原因になります

- ・ 落下などにより強い衝撃を与える
- ・ 電源コンセントに接続されていないホームベースに、ルンバを接続する
- ・ ホームベースに接続せず、バッテリーをルンバに入れたまま1週間以上放置する
- ・ 取り外したバッテリーを、3ヶ月以上放置する
- ・ 直射日光が当たる場所や高温の場所に、バッテリーを放置する

**注意** 充電開始後は、リング状のランプが白色に点灯するまで中断せずに充電してください。省電力のため、約1分後に消灯します。

- ・ 充電中に、本体裏面バッテリー格納部周辺が熱くなる場合があります。そのようなときは、十分に冷めるまで待ってから、ルンバを使用してください。
- ・ 使用頻度が著しく低い場合、バッテリーの寿命を縮める原因になります。少なくとも1週間に一度使用するか、充電してください。1週間以上使わないときは、バッテリーを十分に充電した後に取り外し、冷暗所で保管してください。

- ・ ルンバの電源が切れていてもバッテリーは少しずつ消費され、数日でバッテリー切れになります。充電せずに1週間以上放置すると、バッテリーが過放電（バッテリーあがり）を起こし、寿命が短くなったり破損したりします。
- ・ ルンバをご使用にならない場合でも、常に充電してください。
- ・ 充電せずに長時間放置したときは、過放電によりバッテリーが破損している可能性があります。
- ・ バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店、または協力自治体へお持ちください。安全のため、端子部が隠れるようにゼロハンテープなどを貼ってください。

お問い合わせ：JBRC  
<http://www.jbrcc.com/>

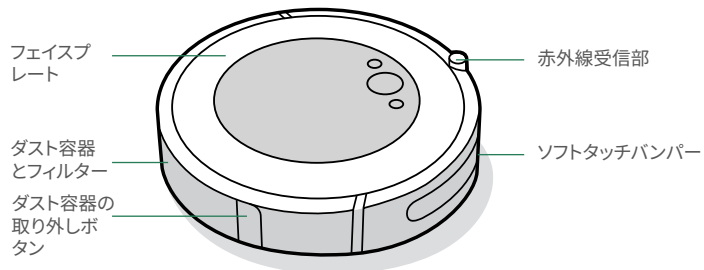


### 電波に関するご注意

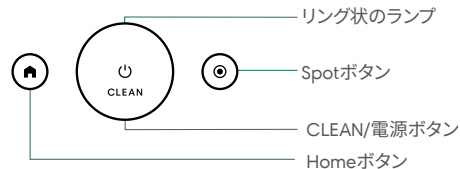
- ・ 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- ・ 以下の機器や無線局は、一部製品に搭載されているものと同じ2.4GHz周波数帯の電波を利用しています。
  - ・ 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線LAN機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
  - ・ 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
  - ・ 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）
- ・ 以上の機器や無線局の近くに製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- ・ 心臓ペースメーカーなどの医療用機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- ・ 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、アイロボットサービスセンターにお問い合わせください。

# ロボット掃除機 ルンバ®

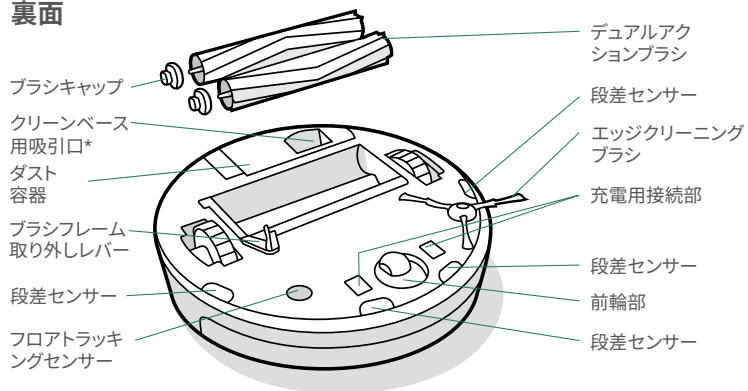
## 天面



## ボタンとアイコン

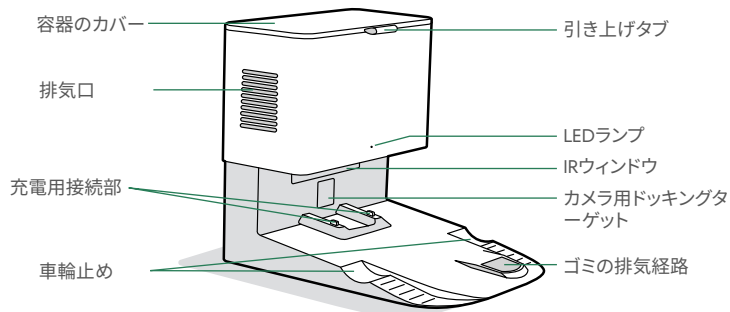


## 裏面

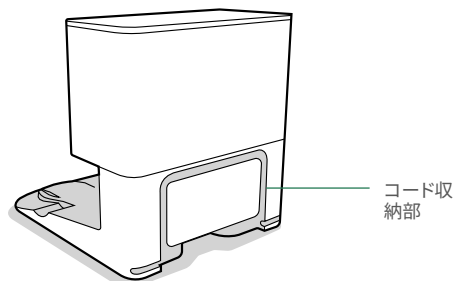


# クリーンベース®(自動ゴミ収集機)の名称

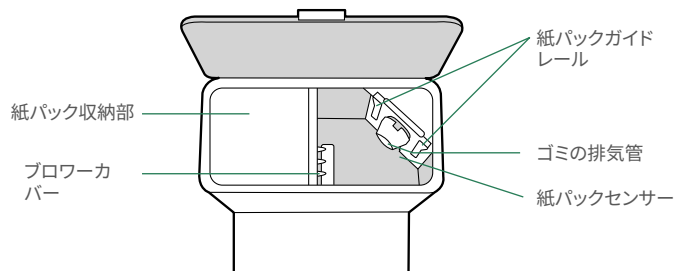
## 前面



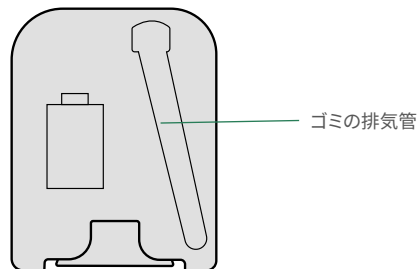
## 背面



## 天面



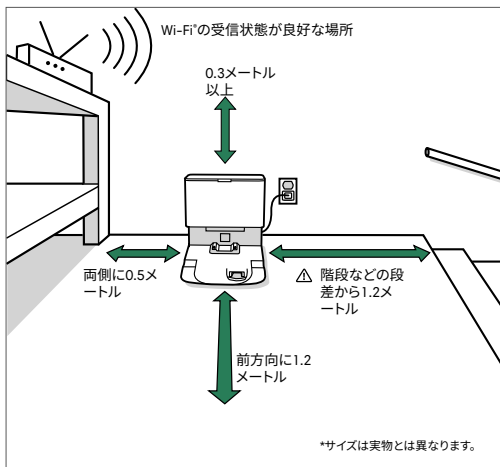
## 裏面





# ロボット掃除機 ルンバ®を使う

## クリーンベース(自動ゴミ収集機)を設置する



**メモ:** クリーンベースを直射日光が当たる場所に配置しないでください。ドッキングがスムーズに行われるよう、クリーンベースの周りを片付けてください。

**警告:** ロボットが落下するリスクを防止するには、階段から1.2メートル以上離れたところにクリーンベースを設置してください。

## iRobot Homeアプリをダウンロードして、ご自宅のWi-Fi®ネットワークに接続する

- 説明に従いロボット掃除機 ルンバ®を設定してください。
- 自動的に清掃を開始するスケジュール機能や、清掃モード設定のカスタマイズができます。
- スマートマップを作成して、いつどこを、どのように清掃するかをロボットに指示できます。

## 充電



リング状の白色ランプ(充電中)

白色点灯:充電済み

白色点滅:充電中

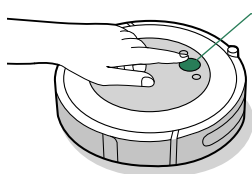
赤色点滅:充電中/残量僅少

- ロボットをクリーンベースの上に置いてバッテリーを起動させます。
- **メモ:** ロボットは出荷時に一部充電されていますが、購入後、初めて清掃する前に約3時間充電することをお勧めします。
- 清掃中に充電が必要になると、ロボットはクリーンベースに戻ります。ロボットが十分に充電されると、ロボットは中断したところから清掃を再開します。
- クリーンベースに置かれている間、ロボットが消費する電力はわずかです。使用していないときに、ロボットをさらに省電力状態にすることもできます。省電力スタンバイモードを使用する方法と説明については、iRobot Homeアプリをご覧ください。
- 長期間保管する場合は、クリーンベースから取り外し、**ボタン**を10秒長押ししてロボットの電源を切ります。ロボットは涼しく乾燥した場所に保管してください。

# 清掃する



清掃を開始する前に、床の上を片付けてください。床をきれいに保つため、ロボットは定期的にご使用ください。



## CLEANボタンを押すだけ

開始/一時停止/再開するにはボタンを押します

清掃を終了するには、3秒間押し続けてください

- ロボットが部屋中を移動しながら清掃します。清掃終了時や、充電が必要になるとクリーンベースに戻ります。
- ロボットをクリーンベースに戻すには、**HOME**ボタンをタップします。リング状の青いランプが点滅したら、クリーンベースに戻ります。
- ロボットは、ごみが多い場所ではダートディテクト™モードに切り替わり、その場所がキレイになるまで何度も清掃します。リング状のランプが青色の点滅に変わります。
- 指定したエリアでSPOTモードを使用するには、**SPOT**ボタンをタップします。ロボットは直径約1メートルの範囲を中心から外方向にグルグルと円を描きながら清掃し、さらに内方向に清掃しながら開始した場所に戻ります。表示ランプは円を描くように青色で点滅します。

## クリーンベース(自動ゴミ収集機)について

ロボットは、清掃中に必要に応じてダスト容器を空にしたり充電したりするために自動的にクリーンベースに戻ります。

新しい紙パックが必要になると、自動ゴミ収集機のLEDランプが赤色に点灯します。詰まりが検出されると、ゴミ収集機は、自動的に詰まりを解消しようとします。




**メモ:** 手でロボットをクリーンベースに置いた場合は自動的に空になりません。この場合は、iRobot Homeアプリを使用するか、CLEANボタンを2~5秒長押しします。

# お手入れ

## お手入れの手順

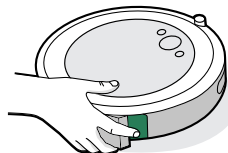
クリーンベースの清掃能力を最適に保つために、定期的な次のお手入れを行ってください。

部品	お手入れの頻度	交換時期の目安*
紙バック	-	LEDランプやiRobot Homeアプリからお知らせを受け取ったら、紙バックを交換してください。
充電用接続部 カメラ用ドッキングターゲット	1か月に1回	-
容器内のプロワー カバー	1か月に1回(プロワーカバーからゴミを取り除いてください)	-
ダスト容器	必要に応じて洗浄	-
フィルター	週1回(ペットがいるご家庭では週2回)を目安に清掃する。洗わないでください。	2か月ごと
ゴミセンサー	2週間に1回を目安に清掃する	
前輪部	2週間に1回を目安に清掃する	12か月ごと
エッジクリーニングブラシとデュアルアクションブラシ	月1回(ペットがいるご家庭では月2回)を目安に清掃する	12か月ごと
センサーと充電用接続部	月に1回を目安に清掃する	-

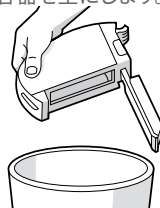
 **メモ:** iRobot の製品にはさまざまな交換用部品があります。交換部品が必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでご連絡ください。

## ダスト容器を空にする

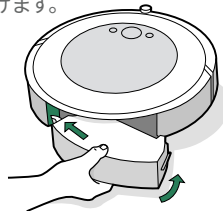
- 1 ダスト容器取り外しボタンを押して、ダスト容器を取り外します。



- 2 ダスト容器のフタを開けて、ダスト容器を空にします。

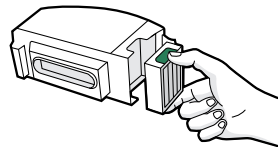


- 3 ダスト容器をロボットに取り付けます。



## フィルターを清掃する


- 1 ダスト容器を取り外します。フィルターの両端をつまんで引き出し、フィルターを取り外します。



- 2 ゴミ箱の上でフィルターをはたき、ゴミを取り除きます。

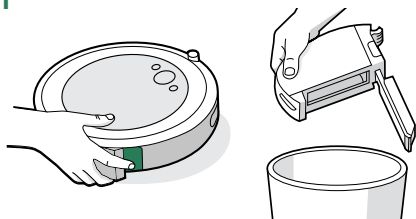


- 3 うね状に隆起したグリップを外側に向けてフィルターを取り付けます。ダスト容器をロボットに取り付けます。

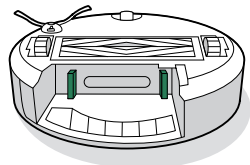
 **重要:** フィルターが正しく取り付けられていないと、ロボットは動作しません。フィルターは約2か月ごとに交換してください。

## ゴミセンサーのお手入れ

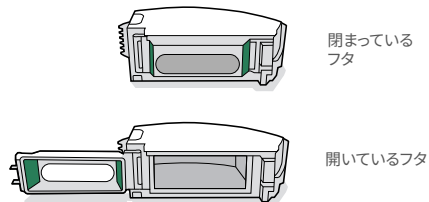
- 1 ダスト容器を取り外し、ゴミを捨てます。



- 2 センサーを乾いた清潔な布で拭きます。



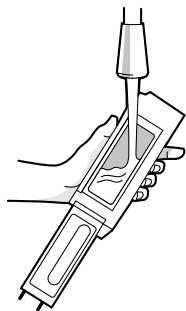
- 3 ダスト容器のフタを乾いた清潔な布で拭きます。



## ダスト容器を洗浄する

- ※ 重要: フィルターは洗わないでください。ダスト容器を洗浄する前にフィルターを取り外します。

- 1 ダスト容器からフィルターを取り外し、ダスト容器のフタを開きます。
- 2 水またはぬるま湯でダスト容器をすすぎます。

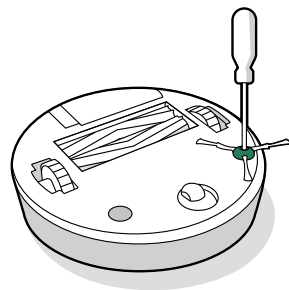


- メモ: ダスト容器は食洗機では洗浄できません。

- 3 ダスト容器が完全に乾いていることを確認してください。フィルターをダスト容器に戻し、ダスト容器をロボットに取り付けます。

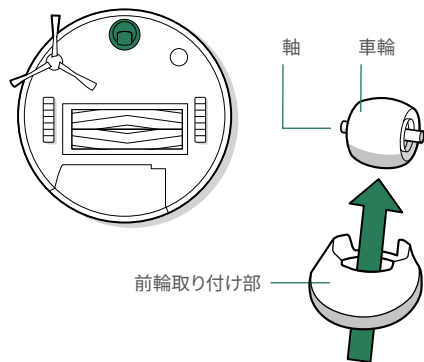
## エッジクリーニングブラシのお手入れ

- 1 プラスドライバーを使って、エッジクリーニングブラシを固定しているネジをゆるめます。
- 2 エッジクリーニングブラシを取り外します。髪の毛やゴミを取り除き、元に戻します。



## 前輪部のお手入れ

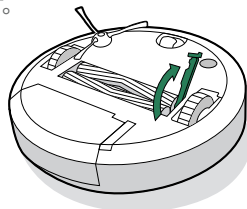
- 1 前輪部をつまみ、本体から上に引き抜きます。
- 2 車輪をつまみ、前輪取り付け部から引き抜きます(イラスト参照)。
- 3 本体側のくぼみの中のゴミを取り除きます。
- 4 ゴミが取れたらすべての部品を元に戻します。車輪を戻す際には、カチッと音がするまできちんとはめ込んでください。



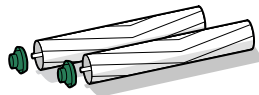
**※ 重要:** 前輪部に髪の毛やゴミが絡まっていると、床を傷つける可能性があります。お手入れしても前輪の動きが悪い場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせください。

## デュアルアクションブラシを清掃する

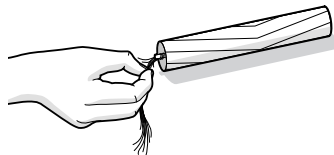
- 1 ブラシフレーム取り外しレバーを内側に寄せ、レバーを持ち上げて、異物を取り除きます。



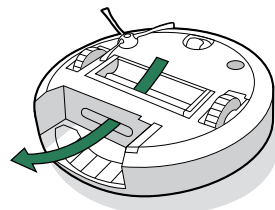
- 2 ブラシをロボットから取り外します。ブラシの端にあるブラシキャップを取り外します。キャップの内側から髪の毛やゴミを取り除き、ブラシキャップを取り付けます。



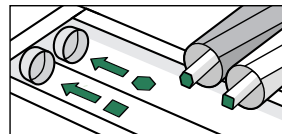
- 3 各ブラシの反対側にある四角形と六角形の軸の周りにたまっている髪の毛やゴミを取り除きます。



- 4 ロボットからダスト容器を取り外し、吸引口にたまっているゴミを取り除きます。

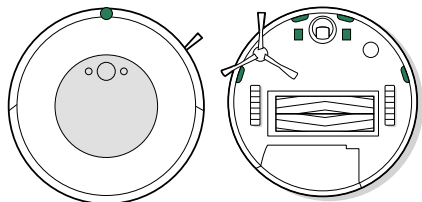


- 5 ブラシをロボットに取り付けます。ブラシの軸の形を、本体側のブラシのイラストの形に合わせてください。

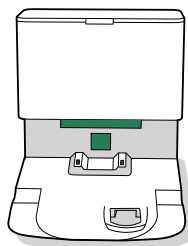


## 各種センサーと充電用接続部、カメラ用ドッキングターゲットおよびIRウィンドウのお手入れ

- 1 段差センサー、充電用接続部、クリーンベースの接続部を乾いた清潔な布で拭きます。別の方法として、メラミン樹脂スポンジを使用して、ロボットやクリーンベース充電用接続部に堆積したごみを取り除くことができます。



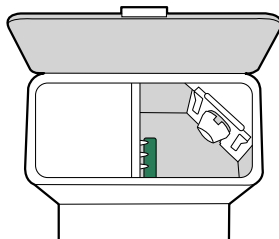
- 2 カメラ用ドッキングターゲット、IRウィンドウ、充電用接続部に汚れやゴミが付着していないかを確認します。乾いた清潔な布で拭いてください。



- ＊** 重要: センサーに洗剤液などを吹き付けないでください。

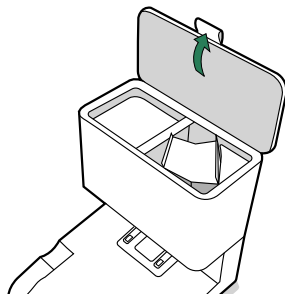
## ブロワーカバーからゴミを取り除く

ブロワーカバーに糸くずやゴミが絡みついているかを点検し、乾いた清潔な布で拭いて付着物を取り除きます。



## 紙パックを交換する

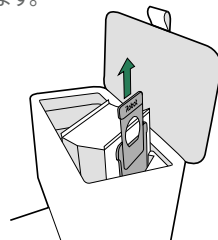
- 1 カバーを引き上げてダスト容器を開きます。



- 2 プラスチックカードを引き上げ、容器から紙パックを取り出します。

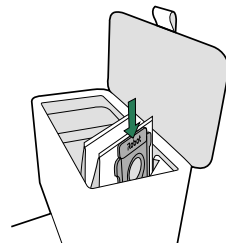


**メモ:** ホコリやゴミがこぼれないように、紙パックは密封されています。



- 3 使用済みの紙パックを破棄します。

- 4 新しい紙パックを取り付け、プラスチックカードをガイドレールにスライドさせます。



- 5 カバーを押し下げて、完全に閉まっていることを確認します。



**メモ:** ロボットおよびクリーンベースの性能を最適に保つために、紙パックは必要に応じて交換してください。

# 困ったときは

## クリーンベース

何らかの異常や特殊な状況が発生すると、クリーンベースは容器正面のLEDランプやiRobot Homeアプリでお知らせします。

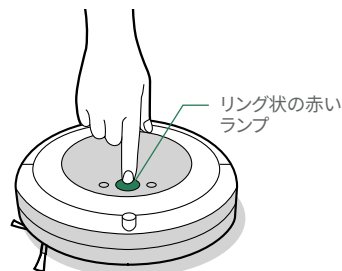
LEDランプ	一般的なエラー	解消方法
赤色点灯	紙パックがいっぱい、または紙パックがありません	<ol style="list-style-type: none"><li>紙パックがいっぱい、または、取り付けられていない場合は新しい紙パックを取り付けます。</li><li>紙パックがしっかり取り付けられているかを確認します。</li><li>問題が解決されない場合は、ロボット裏面の吸引口やクリーンベースからゴミを取り除きます。</li></ol>
赤色点滅	クリーンベースの排気経路に漏れや詰まりがある	<ol style="list-style-type: none"><li>容器のカバーが押し下げられ、しっかりと閉まっているかを確認します。ロボットのCLEANボタンを2～5秒長押しして、ダスト容器を手動で空にします。</li><li>ロボット裏面の吸引口およびクリーンベースからゴミを取り除きます。</li><li>クリーンベースの電源プラグを抜きます。電源プラグを側に置き、ゴミの排気管を調べます。必要に応じて排気管を取り外し、ゴミを取り除きます。</li></ol>

本製品は、過熱による損傷を防ぐための過熱防止機能を備えています。過熱防止機能が作動すると、モーターが停止します。その場合は、電源プラグを引き抜き、30分熱を冷まし、排気経路や排気管から異物を取り除いてから、電源プラグを差し込んでください。

## ロボット

何らかの異常や特殊な状況が発生すると、エラー音が鳴り、リング状のランプが赤色に変わります。CLEANボタンを押して詳細を確認してください。詳しいサポートや使い方の解説動画は、iRobot Homeアプリからご覧いただけます。

ロボットが清掃を終了したか一時停止しているのか分からない場合は、iRobot Homeアプリでステータスを確認してください。



バッテリー残量が低下しています。充電してください。

## バッテリーの安全基準と輸送

ロボットの性能を十分に発揮させるため、必ず付属のiRobotリチウムイオンバッテリーを使用してください。



**警告:** リチウムイオンバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーを内蔵する製品には、厳しい輸送規制が適用されます。この製品を、業務、旅行、その他の理由で輸送する場合は、以下の手順に従う必要があります。

- 輸送時にはバッテリーの電源をオフにします。
- バッテリーをオフにするには、クリーンベースからロボットを取り外し、を10秒間押し続けます。すべてのアイコンが消灯します。
- 配送するためにロボットを梱包します。
- その他サポートが必要な場合は、アイロボットサービスセンターまでお問い合わせいただくか、<https://www.irobot-jp.com/>をご覧ください。

# 規制情報

JP

## FCC製造業者の適合宣言

iRobot Corporation

Roombaモデル: RVD-Y1

次を含む、FCC ID: UFE-AXFY1およびIC: 6652A-AXFY1

本製品は FCC 規定第 15 章に準拠しています。操作は、以下の2つの条件を前提とします。(1) 本製品が有害な干渉を引き起こさないこと、(2) 思わぬ動作を引き起こす可能性のあるものも含めて、受信した干渉を全て許容すること。

本製品には、ライセンス免除の送受信機が搭載されており、同送受信機は、カナダのイノベーション科学経済開発省 (ISED) のライセンス免除RSSに準拠しています。操作は、以下の2つの条件を前提とします。(1) 本製品が干渉を引き起こさないこと、(2) 本製品に思わぬ動作を引き起こす可能性のあるものも含めて、干渉を全て許容すること。

- iRobot Corporationにより明示的に承認されていない変更や修正を行うと、機器を使用するユーザーの権限が無効になる場合があります。
- 本製品は、FCC規定第15章に従って行われるテストに合格し、デジタル機器のクラスBの規準を満たした製品です。これらの制限は、住宅への設置において発生する可能性のある有害な干渉に対する妥当な保護を提供するためのものです。本製品は、電磁波を生成、使用、放射する可能性があるため、適切に設置し、取扱説明書に従って使用されない場合は無線通信への障害を引き起こす可能性があります。ただし、無線通信への干渉が特定の設置で発生しないという保証はありません。本製品が無線やテレビ受信への電波障害を引き起こすかどうかは、製品の電源をオン/オフにすることで確認できます。次のいずれかの方法により、障害を補正することをお勧めします。
  - 受信用アンテナの方向や位置を変更する。
  - 製品と受信機の距離を離す。
  - 受信機を接続している回路とは別の回路を使用しているコンセントに製品を接続する。
  - 取扱店、または無線/テレビ関係の経験豊富な技術者に支援を要請してください。

- カナダ産業省の規制では、この無線送信器はカナダ産業省が送信器に対して認可した種類および最大 (またはそれ以下) 利得のアンテナを使用した場合にのみ稼働できます。他のユーザーへの潜在的な無線の干渉を低減するには、EIRP (Equivalent Isotropically Radiated Power: 等価等方放射電力) が正常な通信に必要な値を超えないように、アンテナの種類と利得を選択する必要があります。
- FCC 放射線被曝に関する声明: 本製品は、制御されていない環境について規定されている、モバイル端末無線周波数暴露限度値に関するFCC §2.1091(b)に準拠し、本書に記載されている目的において安全に動作します。FCC要件に準拠するため、人と製品本体 (Roomba) の間に20 cm以上の距離を保ってください。
- ISED 放射線被曝に関する声明: 本製品は、制御されていない環境について規定されている、携帯型無線周波数暴露限度値に関するカナダの基準 RSS-102 に準拠し、本書に記載されている目的において安全に動作します。ISED要件に準拠するため、人とロボット掃除機の間に20 cm以上の距離を保ってください。

iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730 USA.  
<https://global.irobot.com>

バッテリーのリサイクルについては、[call2recycle.org](http://call2recycle.org)をご覧くださいか、  
+ (1) 800-822-8837までお電話ください。





# アイロボットサービスセンター

製品に関するご質問やご意見がある場合は、アイロボットサービスセンターにご連絡ください。

global.irobot.comでは、使用方法やよくあるご質問、付属品などに関する情報をご案内しております。この情報は、iRobot Homeアプリからもご覧になれます。その他サポートが必要な場合は、アイロボットサービスセンターにお電話ください。

## アイロボットサービスセンター

- TEL: 0120-046-669 (通話無料)
- 受付時間 9:30～17:30 (月～日曜および祝祭日)

**注意: 修理の為に交換した部品・付属品および製品は、弊社で引き取らせていただきます。製品を使用したことによって発**

**生した損害については、製品の性質上、責任を負いかねます。製品は日本仕様です。日本国外で使用された場合、責任を負いかねます。**

- 上記電話番号は、携帯からもご利用いただけます。
- 午前中は大変混みあいますので、比較的つながりやすい午後におかけください。
- 年末年始、ゴールデンウィークはお休みさせていただきます。また弊社都合によりお休みさせていただく場合がございます。予めご了承ください。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、次の目的で利用させていただきます。お問い合わせへの対応、アフターサービスの提供、製品およびサービスの品質向上のアンケート、キャンペーンその他イベントのご案内(ダイレクトメール、電子メールを含みます)。詳細は<https://www.irobot-jp.com/policy/>をご確認ください。

# **iRobot®**

©2022 iRobot Corporation, 8 Crosby Drive, Bedford, MA 01730, USA. All rights reserved. iRobot, アイロボット, Roomba, ルンバ, Clean Base, クリーンベース, Dirt Detect, ダートディテクトはiRobot Corporationの商標または登録商標です。Wi-FiおよびWi-FiロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。AppleとApp Storeは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。Google Playは、Google LLCの登録商標です。



4814244 Rev. A

WC#: 4814243 vB